

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(7)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物の比重は1より小さい。 【 】
- (2) ジニトロソペンタメチレンテトラミンは酸を加えて貯蔵する。 【 】
- (3) 過酢酸は酸化性物質との接触により、爆発することがある。 【 】
- (4) ニトロセルロースは、窒素含有量が多いものほど、危険性が低い。 【 】
- (5) ニトロセルロースはセルロースを硝酸と硫酸の混合液に浸して作る。 【 】
- (6) ピクリン酸は乾燥することにより、危険性が小さくなる。 【 】
- (7) ジアゾジニトロフェノールは水によく溶ける。 【 】
- (8) 硫酸ヒドラジンは強力な還元剤である。 【 】
- (9) ヒドロキシルアミンはエタノールによく溶ける。 【 】
- (10) ヒドロキシルアミンは安定させるために、水酸化ナトリウムを混入する。 【 】
- (11) 硫酸ヒドロキシルアミンは無色または白色の結晶である。 【 】
- (12) アジ化ナトリウムは銅や銀に対して安定である。 【 】
- (13) アジ化ナトリウムは二硫化炭素との接触を避ける。 【 】
- (14) 硝酸グアニジンは急激な加熱及び衝撃により爆発する。 【 】
- (15) 硝酸グアニジンの融点は215℃程度である。 【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(7)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物の比重は1より小さい。 【×】
比重は1より大きい。
- (2) ジニトロソペンタメチレンテトラミンは酸を加えて貯蔵する。 【×】
酸と離して貯蔵する。
- (3) 過酢酸は酸化性物質との接触により、爆発することがある。 【○】
酸化性物質との接触により爆発することがある。
- (4) ニトロセルロースは、窒素含有量が多いものほど、危険性が低い。 【×】
窒素含有量の多いものほど、危険性が高い。
- (5) ニトロセルロースはセルロースを硝酸と硫酸の混合液に浸して作る。 【○】
セルロースを硝酸と硫酸の混合液に浸して作る。
- (6) ピクリン酸は乾燥することにより、危険性が小さくなる。 【×】
乾燥状態のものは危険性が高い。
- (7) ジアゾジニトロフェノールは水によく溶ける。 【×】
水にほとんど溶けない。
- (8) 硫酸ヒドラジンは強力な還元剤である。 【○】
強力な還元剤である。
- (9) ヒドロキシルアミンはエタノールによく溶ける。 【○】
アルコールによく溶ける。
- (10) ヒドロキシルアミンは安定させるために、水酸化ナトリウムを混入する。 【×】
水酸化ナトリウムと激しく反応する。
- (11) 硫酸ヒドロキシルアミンは無色または白色の結晶である。 【○】
無色または白色の結晶である。
- (12) アジ化ナトリウムは銅や銀に対して安定である。 【×】
重金属と反応する。
- (13) アジ化ナトリウムは二硫化炭素との接触を避ける。 【○】
二硫化炭素と激しく反応する。
- (14) 硝酸グアニジンは急激な加熱及び衝撃により爆発する。 【○】
急激な加熱及び衝撃により爆発する。
- (15) 硝酸グアニジンの融点は215℃程度である。 【○】
融点は215℃程度である。